

山行報告書

報告書作成

2006年7月18日

山名 [山域]	ニセイカウシュッペ山 比麻良山(大雪)	目的と方法	花観賞
登山期間	2006年7月15日(土)～16日(日)	山行形態	日帰り ピストン
参加人数	2名		

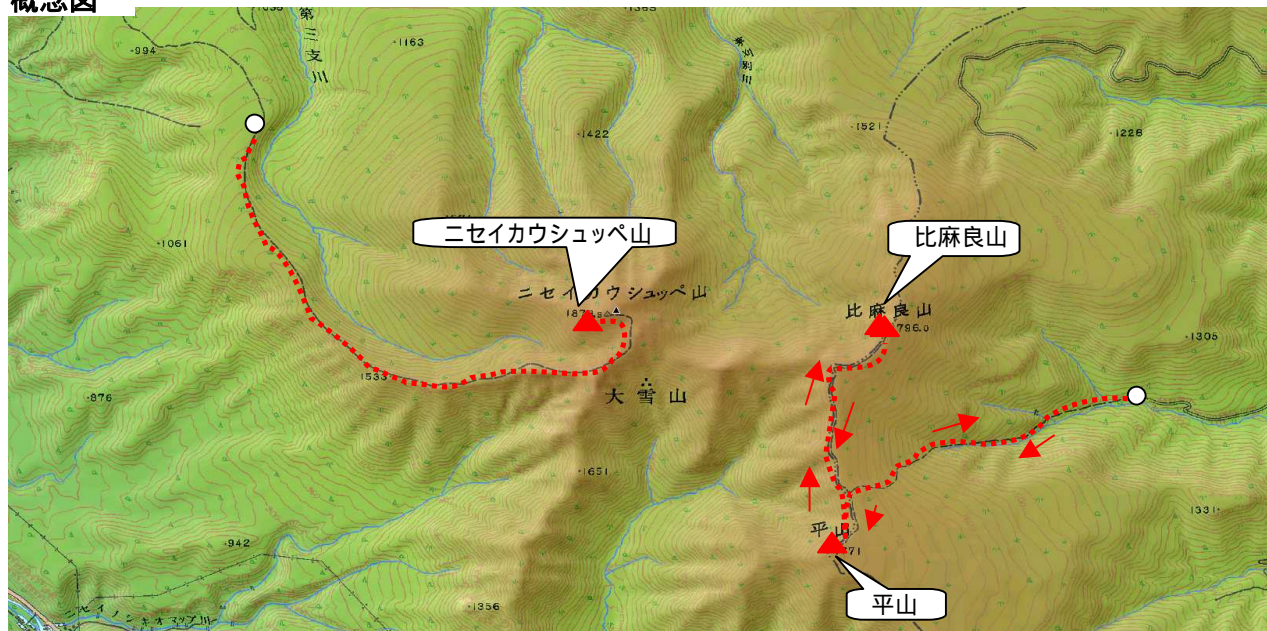
行動記録

7/14(金) セントレア16:45 = 千歳空港 = とうま道の駅TS(22:50)

7/15(土) 起床4:00 = ニセイカウシュッペ登山口(6:00、6:30) - 見晴台8:25 ニセイカウシュッペ頂上(9:30、10:00) - 見晴台10:50 - 登山口12:00 = 白滝グランドホテル 入浴・食事 = 白滝道の駅TS 16:00泊

7/16(日) (5:00起床) = 平山登山口(5:30、5:45) - 冷涼の滝(6:30) -- 分岐(8:00) -- 平山(8:25) -- 分岐(8:45、9:00) -- 比麻良山(9:50、10:00) - - 分岐(10:45) - - 冷涼の滝(11:50) - - 登山口(12:20) = 白滝グランドホテル入浴

概念図



日誌

7/14(金) 千歳空港でCL Rさんの御主人さまの 出迎え。すでに一週間前からマイカーで 北海道入りされている。いつもの煩わしいレンタカーの手続きもなく スムーズに空港を後にする。天候は曇り。快適な気温。道央高速入りして一路層雲峡の東 ニセカウシュッペの麓を目指す。買出し後、とうま道の駅で仮眠。

7/15(土) 天候曇り。国道273号から古川林道(鍵あり)をつめる。道路沿いには大きなフキが繁茂している。登山口に。10台ばかりの駐車場。トイレ無し。我々以外は 一台のみ。静かな山である。登山道は狭い林道様の歩きやすいおやかな道が 続く。左に芽刈別川の支流を望みながら展望台へ。曇りで展望無し。本来ならば大雪連峰や山頂の展望が広がるはずであるが残念だ。少しずつ キバナノコマノツメ・ウコンウツギなどのお花が。途中 小雨が本格的になり 雨具着用するが しばらくして 脱ぐ。登山道は 山の斜面に続いているところが多く、ハクサンイチゲ・ジンヨウキスミレ・ツガザクラ・アオノツガザクラ・ハクサンチドリ・エゾイチゲ・ミヤマキンバイ・キバナシャクナゲ・イソツツジ・チングルマ等 所々に雪渓がありその側に 群落をなしている。感激していると CLによれば 以前のお花の方が もっと多いとか。山道らしい登山道になり周辺の 高山植物 ハイマツ帯で 山頂。頂上は 別パーティの二人と我々3人の 静かな山となった。生憎の ガスで展望は頂上でも望めなかったが十分に満足感のある山であった。

7/15(日) 天候 晴に近い薄曇。昨日の東側の平山・比麻良山登山口へ。ここは隠れた名山ともいえるべきなのか 昨日の登山口とは賑やかさが異なっている。トイレ有。大型バスも入山することを想定しての登山口Pであった。早朝にもかかわらず すでに数人の登山者が。虫多し。平山と比麻良山への分岐までは 高度を稼ぐ登山道が続く。それまでは お花はほとんど無し。分岐辺りから イワブクロ(タルマエソウ)の たむる咲きがここかしこ 出現。分岐からはたおやかな山頂平原に コマクサとシオガマの群落。ハイキング気分です山頂のお花畑と展望を堪能した。

感想 13日(木)突如山行予定のSさんからの連絡で Sさんに代わっての参加となった。2山の山名は花の山として知っていたが ただそれ以上の知識は全くなく 下調べも そこそこに 驚きと嬉しさで北海道に飛んだ。実は 丁度 一週間前にも 三泊四日で北海道の山に行ったばかりである。二週続けて北海道の山行のチャンスに恵まれるのは 私にとって幸運と受け止め Sさんの分も楽しませていただいた。